

論文審査の要旨(甲)

申請者領域・分野 氏名	総合医療・健康科学領域 氏名 岩村 暢寿	教育研究分野 放射線診断学
指導教授氏名	掛田 伸吾	
論文審査担当者	主 査 齊藤 敦志 副 査 富山 誠彦	副 査 青木 昌彦
<p>(論文題目) High-signal venous sinuses on MR angiography: discrimination between reversal of venous flow and arteriovenous shunting using arterial spin labeling (MRAにおける静脈洞内の高信号: Arterial spin labelingによる生理的静脈逆流と動静脈瘻の鑑別)</p>		
<p>(論文審査の要旨) 900 字程度</p> <p>海綿静脈洞における生理的静脈逆流と硬膜動静脈瘻との鑑別に非侵襲的な MR 撮像法である arterial spin labeling (ASL) の有用性を示した後ろ向き研究である。頭部 MRA, ASL が撮像された 377 例に対して、MR angiography の元画像から海綿静脈洞の信号値を 5 段階に分けて分類し、ASL 上の高信号の有無を 2 人の放射線診断医が評価し、DSA 所見の硬膜動静脈瘻の有無との相関を解析した。DSA において海綿静脈洞に硬膜動静脈瘻が認められた例では、全例で ASL 上の高信号を呈した。DSA 上で海綿静脈洞に硬膜動静脈瘻を認めなかった例では MRA 上、高信号を呈した全例で ASL 上は高信号を認めなかった。S 状静脈洞や横静脈洞、内頸静脈において生理的静脈逆流による MRA 上の高信号を呈する例でも ASL 上で高信号を呈した例を認めた。ASL は海綿状静脈洞の硬膜動静脈瘻に高い診断精度を有しており、MR angiography において海綿静脈洞に認める生理的静脈逆流と硬膜動静脈瘻との鑑別に有用であることが示唆された。ASL を評価する場合には頸静脈から静脈洞への逆流が偽病変を呈する場合も考慮すべきと判断された。</p> <p>非侵襲的な MR 撮像法を用いて診断の重要性が高い生理的静脈逆流と硬膜動静脈瘻との鑑別診断に新たな知見を与えている点は、今後の臨床的な有用性が期待され、かつ学術的評価も高い研究結果であり学位授与に値する。</p>		
公表雑誌等名	Neuroradiology 2021Jun;63 (6) : 889-896	